

## 施工業者様用〈施工説明書〉

## 落下防止ネット

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

**⚠ 注意**

施工に際して以下の警告・注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

**警告!**

- 軸体の強度を確保してください。  
階段が取り付く位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。
- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ネットのほつれや切れ、ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。
- 仮固定やロープのカット等、鋭利な道具を使用する際は、ネットを傷つけない様配慮してください。

**注意!**

- 2階ホールの手すりの高さは1,120mmとしてください。
- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品ですが、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。
- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは連続して取り付けてください。
- 手すり端部はぶつけたりひっかけたりしないように配慮してください。
- 定期的に目視、手触りにて点検してください。

**お願い**

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

- ・下穴はネジ径の80~85%を目安としてください。
- ・故意にもたれ掛けたり、ぶら下がったりしないでください。

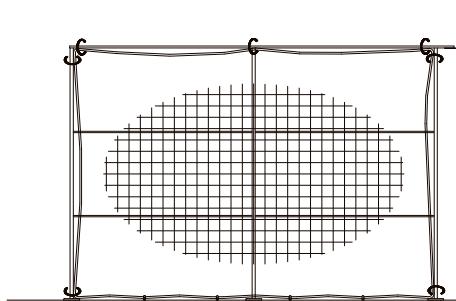
手順

4

## 固定金具取付

- 水平用部材の床面部分や階段部用部材の踏板部分でネットが固定できない部分には、固定金具を使ってネットを固定します。ネットの下部が固定されていない場合、ネットがたわんだ際に床面や踏面との間に隙間ができ、落下事故につながることが考えられます。

30cm程度毎に固定金具でネットを固定し、ネットにもたれかかつた場合でも大きな隙間ができるないようにしてください。

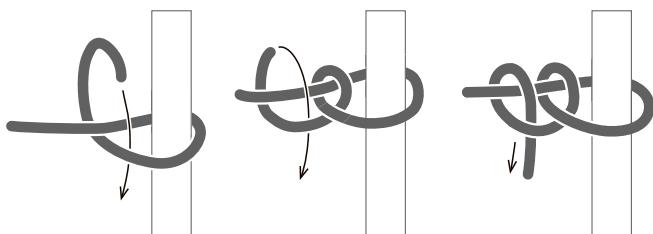


固定金具でネットを固定

### ロープの結び方例

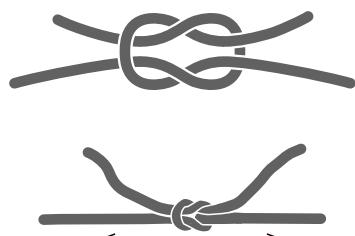
#### 二結び

スチールフラットバー手すりのトップレール及び支柱にロープを結ぶ場合



#### 本結び

かがり巻きロープを継ぎ足す場合



手順

5

## 仮固定(ビニール紐や結束バンド)の除去

- 仮固定で取り付けていた、ビニール紐や結束バンドをニッパー或はハサミを使い取り除きます。この時、ネットやロープに傷をつけないように十分気を付けてください。

手順

6

## ネット張りあがりの確認

- 取り付られたネットの升目がきれいに見える様に整えます。この時、ネットの張りに大きな差が無いか確認してください。
- ネットの緩みに大きな差がある場合や、張りがなくネットが大きくなってしまうような場合は手すり使用時に思わぬ事故が発生することが考えられますので、かがり巻きの締め直しをしてください。

1枚の落下防止ネットで取り付けるスチールフラットバーのスパン数を確認します。1スパン毎にアイストラップ金具5個と落下防止ネット固定用のネット取付ロープがロープ固定部(スチールフラットバー手すりのトップレール及び支柱)の4倍の長さで同梱されています。

落下防止ネット、アイストラップ金具、ネット取付ロープの数量と寸法をご確認ください。



ネット取付ロープ  
Φ4mm



アイストラップ金具  
※5個／スパン



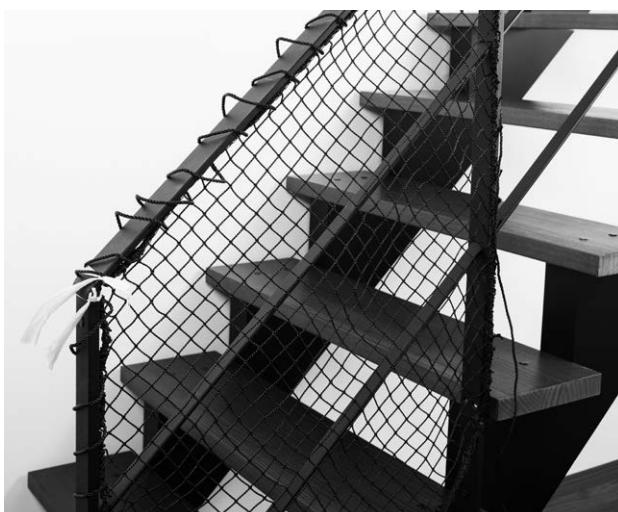
アイストラップ金具用ネジ  
Φ3.5×25mm

手順

3

### ネット取付ロープのかがり巻き

- ・ネット取付ロープ端部をネットコーナー部分に結びます。結んだ部分が動かないこと、結び目がトップレールや支柱の裏面にくることを確認してください。
- ・かがり巻きはネット目1個飛ばしでロープを手すりに巻いていきますが、はじめはきつく締め付けず巻いてください。(※ロープのかがり巻きは全ての部位を1本のロープで巻くと結び目が少なく仕上がりますが、結び目の目立たないコーナー部等で1辺ごとに固定していくと、ロープも短くなりかがり巻きの作業がやりやすくなります。)
- ・かがり巻きができたら、ネット取付ロープの端部はビニール紐等で仮固定してください。
- ・本固定は、固定してあるロープ端部から緩みをとっていきます。長いスパンを作業する場合は、途中で緩まないようにビニール紐や結束バンド等でロープを仮固定してください。ロープの緩みを全てとり、ロープ端部をネットが動かないように結びます。結び目はトップレールや支柱の裏面等、目立たないところに持ってくるときれいに仕上がります。
- ・ロープをカットした端部はライター等で熱してロープがほつれないようにしてください。また、結び目に瞬間接着剤等を塗布すると緩み止めに効果があります。



ロープのかがり巻き



ロープ端部処理

# 施工前の確認作業

落下防止ネットは帯状に折りたたまれた状態で納品されます。



落下防止ネット ※梱包開封時

注文したサイズに間違いがないか確認するために、落下防止ネットの角を探します。角を見つけた毎に、ビニール紐等でしるしをつけておきます。落下防止ネットは伸び縮みがあるので、採寸の時は縁部分を張った状態で角～角の寸法を確認してください。



落下防止ネット



**注意!** ●ネットはスチールフラットバーのスパン形状に合わせたオーダーメイド品です。  
長方形のみ製作可能です。サイズ確認の際は、スチールフラットバー手すり承認図に記載されている寸法をご参照ください。

## 施工

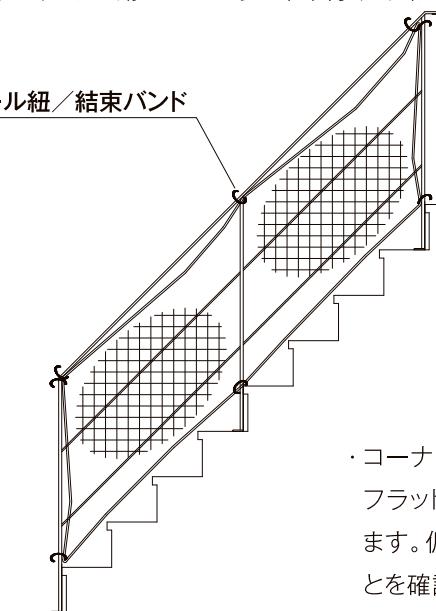
手 順

1

### ビニール紐、結束バンド(現場手配)での仮固定

- ・落下防止ネットの取り付け位置確認後、スチールフラットバー手すりと落下防止ネットのコーナー部分を、ビニール紐や結束バンドで仮固定します。この時、仮固定後に落下防止ネットが動かないように取り付けてください。

ビニール紐／結束バンド



ビニール紐 ※現場手配

- ・コーナー部分を全て仮固定後、50cm程度のピッチでスチールフラットバー手すりのトップレールと支柱部分を仮固定していきます。仮固定の際は、落下防止ネット全体の弛みが均一であることを確認してください。

手 順

2

### ネット取付ロープの準備

- ・落下防止ネットをスチールフラットバー手すりのトップレール、支柱にかがり巻き固定するロープは取り付けする部位の4倍程度の長さが必要となります。(固定方法によって、必要なロープの長さは変わります。かがり巻きのピッチはネット目1個飛びを想定しています。)